

いなべ市 議会だより

第13号

平成19年5月1日

発行
三重県いなべ市議会
編集
議会広報特別委員会



立田小学校の全校児童

小川が流れ、夏にはホタルが飛び交う、そんな豊かな自然の中に小学校があります。小さな小学校ですが、子どもたち一人ひとりが主役となり活躍しています。

《立田小学校の特色は山村留学を受け入れていること。また、ホタルを飼育し、地域に放流して環境学習を進めるなど、さまざまな体験学習を通じ、自然の不思議や感動を味わうことができます》

3月定例議会

目次

- 平成19年度の主な事業……………P2～P3
- 18人が一般質問……………P4～P13
- 委員会の活動報告……………P14～P16
- こんなことが決まりました……………P17
- クイズの当選者……………P22

平成19年度 いなべ市の事業 ～各会計予算を慎重審議のうえ可決～

今年度の「いなべ市」の特徴的な事業を紹介します。

公共交通の整備と促進

コミュニティバス事業費（9,258万円）

平成19年度には北勢町地区4路線の実証実験運転を開始します。員弁町地区は平成18年度から運行のため、北勢町地区のあとは、藤原町地区、大安町地区の順で整備が進みます。



北勢線運営事業費（1億6,622万円）

三岐鉄道(株)への当市の平成19年度の負担金。なお、当市を含めた沿線市町は平成15年度から10年間負担することになっており、その総額は53億2,000万円。



阿下喜駅前広場整備事業費（3,295万円）

北勢線阿下喜駅前ロータリーの整備を行います。

よりよい環境で教育を

員弁西小学校建設事業費（5億7,482万円）

平成19年度にかかる事業費。員弁西保育園の移転により、学校敷地を広く活用。完成は平成21年度内の予定です。



保育園の建設

員弁西保育園建設事業費（3億8,539万円）

平成19年度にかかる事業費。員弁西保育園と員弁中保育園が統合し、新しい員弁西保育園に生まれ変わります。現在建設中で完成は本年7月の予定。



建設中の員弁西保育園

阿下喜温泉の充実

阿下喜温泉整備事業（1億100万円）

阿下喜温泉指定管理料（7,066万円）

休憩スペースを広くするため、施設の増設を行います。また、管理運営の効率化のため、指定管理者制度を導入。4月より、民間会社が施設の管理を代行しています。



北勢・員弁中学校の給食実施に向けて

北勢中学校給食調理室建設事業（300万円）

大安学校給食センター改修事業（1,900万円）

いずれも給食導入のための設計業務委託料。なお、北勢中学校は敷地内に給食室と調理室を建設。大安学校給食センターは、員弁町へも供給を行うための整備を図ります。給食開始はともに平成22年4月の予定。



大安学校給食センター
(大安中学校東)

高齢者が安心して暮らせるよう

いなべ市北地域包括支援センター委託事業

(1,824万円)

大安庁舎内にある地域包括支援センターは、南地域(大安町・員弁町)が所管に。新しく設けられた北勢福祉センター内の地域包括支援センターは、社会福祉協議会に委託し、北地域(北勢町・藤原町)を所管することになりました。

高齢者見守りネットワーク事業 (59万円)

高齢者を取り巻くさまざまな問題を未然に防ぐため、地域のネットワークを推進する事業。

農業の振興

水田農業構造改革対策事業費 (5,005万円)

集落で農地を守るための組織づくり(集落営農)が行われています。そのため、「集落を機軸にした担い手」に対する各種支援を行います。

障害者福祉の充実

障害者活動支援センター(仮称)を建設(3億500万円)

～バンブーハウスは当所へ移転～

利用者の自立に向けたサービス体制の確保に向け、市は大安町の中央公民館の西に「障害者活動支援センター(仮称)」を建設。

知的障害者通所授産施設「バンブーハウス」は当施設内へ移ります。

道路網の整備

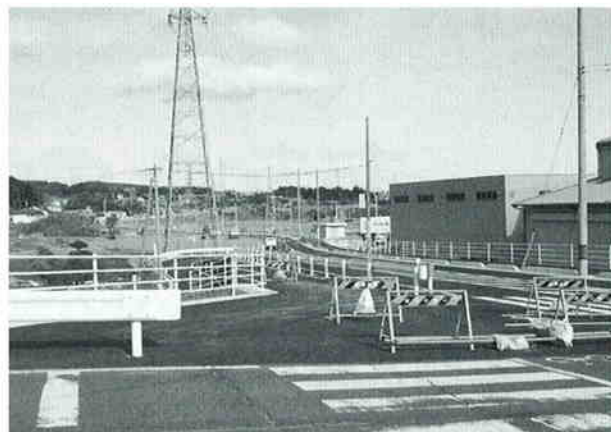
道路橋梁新設改良事業費 (7億390万円)

主な事業

平塚3区339号線道路改良事業

阿第114号線道路改良

国からの「地方道路整備交付金」を受けて行っています。



阿下喜駅前の本町通交差点から六石交差点(員弁街道)を結ぶ路線。交差点の安全対策が課題です。

藤原大橋橋梁整備事業

国からの「まちづくり交付金」を受け、現在工事を進めています。

平成19年度 会計別予算額

	平成19年度	平成18年度	増減額	増減率(%)
一 般 会 計	185億5,000万円	175億7,000万円	9億8,000万円	5.6
特 別 会 計	132億4,352万円	127億3,650万円	5億702万円	4.0
住宅新築資金等貸付事業	3,837万円	4,360万円	△523万円	△12.0
農 業 公 園 事 業	1億342万円	1億5,620万円	△5,278万円	△33.8
国 民 健 康 保 険	42億4,961万円	37億210万円	5億4,751万円	14.8
老 人 保 健	44億6,390万円	44億9,580万円	△3,190万円	△0.7
介 護 保 健	20億6,670万円	20億4,930万円	1,740万円	0.8
農業集落排水事業	2億7,345万円	2億6,750万円	595万円	2.2
下 水 道 事 業	20億4,807万円	20億2,200万円	2,607万円	1.3
企 業 会 計	15億5,021万円	16億2,532万6千円	△7,511万6千円	△4.6
水 道 事 業	15億5,021万円	16億2,532万6千円	△7,511万6千円	△4.6
合 計	333億4,373万円	319億3,182万6千円	14億1,190万4千円	4.4

一般質問

あなたの声を市政に

3月7・8日に18人の議員が一般質問を行いました。
質問と答弁の内容を要約してお知らせします。



清水保次

就任後3年間の自己評価と
次期市長選挙への決意は

平成19年度は市の目標を明確化し、改革を加速したいと思っている。その目標は「地域力の再生」、「いなべのブランド化」、「民間活力の導入」、「もったいないを形に」である。

なお、次期市長選挙には再度立候補し、市民の審判を仰ぎたいと考えている。

【質問】 任期も1年足らずとなったが、市長は就任後の3年間で振り返り、市政運営につきどのような評価をしているのか。

また、次期市長選挙には再び立候補をするのかどうか、自身の決意を伺う。

【市長】 市民と市役所の関係を大きく変えることなく、市民に安心していただくことを第一とし、市政運営に取り組んだ。旧町時代からの事業は合併後も引き継ぎ、発展させていくことを優先し、改革については市役所の内部から始めた。

具体的には、阿下喜温泉の建設、学校・保育園の建て替えなど、旧町時代からの懸案を事業化する一方で、総合窓口課の創設による窓口の一本化や部署を51から38に大幅に削減するなど、市役所の改革や歳出の削減にも取り組んできた。

私は「いなべ市」の隅から隅まで走り回り、自らの目で現場を見て、自らの耳で市民の声を聞き「市民が主役のまちづくり」を進めてきたつもりである。



大安庁舎の総合窓口



伊藤 和子

1. 投票所へのバスの運行を
2. 給食費を未納ゼロに

【質問1】 選挙の投票所の削減につき伺う。①なぜ見直しが必要なのか。②地域住民の合意は得られたのか。③投票率向上のためにも、投票所への臨時バスの運行を。④経費の削減はどれくらいになるか。

【総務部長】 ①各投票区の有権者数など、選挙体制の均衡と公平性を図るとともに、厳しい財政事情などを勘案し、見直しを行った。②投票区の見直し対象の自治会の自治会長と協議。その後、平成18年12月の自治会長会での説明により、基本的な合意を得た。③不便になった地域に対する交通手段については、選挙管理委員会において協議をいただきたいと思っている。④400万円から500万円程度と推定。

【質問2】 給食費の未納額および現状と今後の対策につき伺う。①未納はあるのか。あれば、その理由は。②給食費の不足分は何で補てんするのか。③補助(免除)制度はあるのか。④未納者をゼロにするための方策は。

【市長・教育次長】 ①小学校で約45万円(全給食に対する割合0.4%)。中学校で約40万円(全給食に対する割合1.4%)。保護者の規範意識の欠如が最大の理由と考える。②自校方式は徴収した給食費の中で対応。学校給食センターについては繰越金で対応。③給食費も含めて、学校で掛かる費用の一部を援助する「就学援助制度」がある。④保護者の規範意識を高めるための努力をしていきたい。



岡 英昭

1. 新年度予算の編成方針と再選への意欲は
2. 男女共同参画社会実現のための施策は
3. 郷土資料館の改修と整備



【質問1】 平成19年度の予算は何に主眼を置いた編成であったか。また、市長の任期満了は年度途中となるが、決算にも責任を持って再選を目指す意欲はあるか。

【市長】 金額的に見れば、教育と福祉を充実させた予算となっている。主なものは、員弁西保育園・員弁西小学校・障害者支援センター(バンブーハウス)の建設事業。なお、平成19年度は年度途中で任期満了になるが、再度立候補し、決算についても責任を持って議会に上程したい。

【質問2】 男女共同参画社会実現のための施策は。

【市長】 現在、市を挙げて男女共同参画事業に取り組んでいる。今後は、基本計画を策定し、男女共

同参画に配慮したまちづくりを展開していきたい。

平成18年度事業としては男女共同参画に関する住民意識調査と啓発パンフレットの作成に掛かる費用を、平成19年度には人権啓発の講演会開催費を計上。今後は市の審議会や委員会での女性が占める率もより高めていきたい。

【質問3】 観光客も呼べる郷土資料館となるよう、リニューアルを行うべきだと考えるが。

【教育次長】 現在の「いなべ市郷土資料館」の建物は旧大安町役場として昭和44年に建築された。1階と3階が展示コーナーで、2階は商工会の事務所である。今後は耐震診断を行い、その結果を踏まえてリニューアルについて検討していきたい。



いなべ市郷土資料館



小林 俊彦

1. アパートなどの集合住宅におけるガス漏れの危険性は
2. 北勢中・員弁中の給食実施はいつになるのか

【質問1】 市内には集中プロパンで供給しているアパートなどの集合住宅があるが、駐車場スペースの地下にガスパイプが埋設されているため、地中でのガス漏れが心配である。市はガス業者に対し、どのような指導を行っているのか。また、ガス漏れを想定した防災訓練を実施する予定はあるのか。

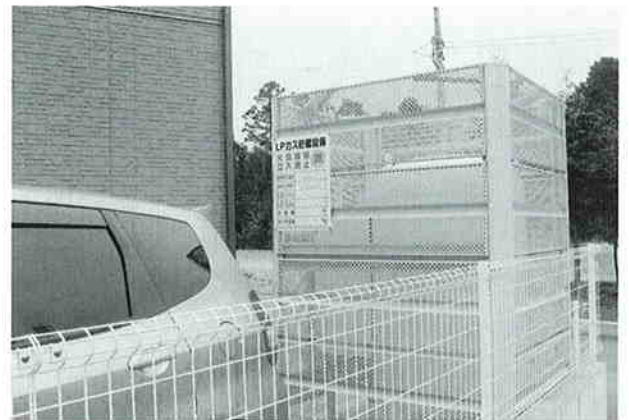
【総務部長】 プロパンガスは、供給量に関係なく、貯蔵施設や配管などの保守点検を法律により販売業者が定期的に行っている。なお、地中に埋設されたガス管は『ネジ』による接合ではなく、ポリエチレン管での熱による融着のため、ガス漏れの心配は少ない。

プロパンガスの場合は供給範囲も狭く、貯蔵量も少量のため、防災訓練を行う予定はない。

【質問2】 大安学校給食センターの改築事業費および北勢中学校給食調理室建設事業費が平成19年度予算として計上されている。完成に向けての今後のスケジュールは。

【市長】 員弁中学校は大安学校給食センターの増強を行い、北勢中学校は敷地内に給食調理室を新たに建設し、給食実施に向け進めていく。しかし、財政的な問題があり、平成22年4月からの実施を予定している。

なお、員弁西小学校は新設後、大安学校給食センターからの配送に変わる。



集合住宅のプロパンガス貯蔵タンク

城野 正昭



市内の小学校における「放課後教室」の実施は

【質問1】 文部科学省と厚生労働省は、放課後も児童を預かる「放課後教室」を実施する全国の公立小学校に対する補助を行うと発表した。平成19年度予算において国が約330億円、県が7,232万円を計上。本事業は、学校の空き教室等を利用し、基本的に無料で行う制度である。この補助事業を活用する考えはあるのか。

【教育長】 国の方針は把握しているが、現在、市内各小学校の放課後における児童は、4月から9月は午後4時30分まで、10月から3月は午後4時までの間、補充的な学習や運動場での遊びなどで過ごすことができるようになっている。

なお、それ以降については、家庭の事情などにより民間の放課後児童クラブ（学童保育所）に通って

いる児童もいる。以上のことから、平成19年度において、補助事業である「放課後教室」を実施する予定はない。今後、検討していきたい。

【質問2】 民間で運営している市内の放課後児童クラブ（学童保育所）の現況は。

【教育長】 市は、各放課後児童クラブ（学童保育所）に、運営委託料や施設の借上などに対する補助を行っている。また、国・県による補助もある。

現在の通所児童数は、員弁町の「スプリング」が5～8名。北勢町の「はっぴーきっず」は8～12名。大安町の「さくらんぼ」が約13名。藤原町の「ふじっ子」は5～8名である。





川崎智比呂

地域コミュニティの再編
～豊かで活気ある
いなべ市の実現に向けて～

【質問】 地域コミュニティの崩壊が進んでいる。今後「いなべ市」が、防災・防犯、教育に対する取り組みを進める上で、地域コミュニティの再編は重要な課題になると考えている。そこで、市としての取り組みの概要につき伺う。

【市長】 地域力を再生するためには、行政が声を上げて「地域の中で地域を守っていく運動」を行っていかなければならない。

現在「通学道路での挨拶運動」、「老人会を中心とした登下校時の見守り」、「地域を挙げての学校行事」などを行っていただいている。より一層これらの事業を推進していきたい。

また、「高齢者見守りネットワーク」を推進するため、自治会長会においても説明とお願いをさせていただいた。具体的には、認知症や徘徊される方への

地域での見守りや高齢者や児童への虐待があった場合、いち早く通報していただくことなどである。

市内のある地域では、災害時における一人暮らしの方の把握、その方のフォローなどの計画を立てていただいている。については、そういった地域を自治会・行政・関係機関が一緒になって構築していきたいと考えている。

今後は、地域の公民館などを大いに活用していきたい。については「生きがいディサービス」、「健康啓発事業」などの事業を考えている。また、公民館（自治会館）建設の補助を1/2にしたい。

防災については、消火栓・消防ホースなどは100パーセント市の負担であり、地域の自主的な整備に対しては補助を行っている。



出口 正



1. 青川左岸道路の早期実現を
2. 下青川橋の完成の見通しは
～道路整備は
住民の生活に大きく影響～

【質問1】 青川左岸道路の実現はいつ頃になるのか。また、「河川空間活用計画」の策定は。

【市長】 市としては、平成20年度からの国の補助事業である「道路特定財源に基づく地方道路交付金事業」の採択を受けることができるよう準備を進めていきたい。

しかし、多くの問題もある。一つ目は三岐鉄道との立体交差の問題である。道路のほとんどが河川区域内となるため、河川管理者である県との協議が必要となる。2つ目には、現在のミルクロードの青川橋北詰は、『橋の欄干』により、見通しが悪く、大変危険な交差点である。そのため、大規模な交差点改良が必要となってくる。

今後は、問題の解決と地権者のご理解を得られるよう努力をするとともに、財源の確保に向け、国土

交通省に対して要望を上げていきたい。

「河川空間活用計画」の策定は、河川管理者である県に働きかけたい。

【質問2】 丹生川地区と治田地区を結ぶ「下青川橋」の一日も早い開通を地域住民は願っている。については、いつ頃通れるようになるのか。

【市長】 橋梁幅は7メートルとなるが、歩道橋は認められなかった。なお、古い橋梁は撤去となる。また、付帯工事として、大安町側約300mの道路改良工事と北勢町側の取付工事を平成19年度で行う計画。全面開通の時期は平成19年度末を予定。



工事中的下青川橋



小川みどり

1.粗大ごみ処理場へ搬入に
行けない方への対策は
~ごみの出し方の変更にもなって~
2.市長自身の
合併後の市政の評価は

【質問1】 平成19年4月から「いなべ市」のごみの分別と出し方が変わる。ごみの中に眠っている資源が再生できるとともに、もえるごみが減ることは主婦として大変嬉しく思う。

しかし、一方では、資源ごみである「古紙」や「古布」の搬入場所が粗大ゴミ場（大安・北勢・藤原）となるため、お年寄りや車に乗れない人などは大変困る。そのため、よりよい方法への改善を検討すべきと考えるがいかがか。

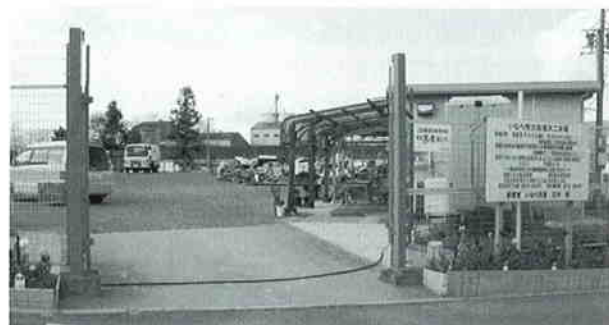
【市長】 「古紙」や「古布」の搬入の問題は、リサイクルが軌道に乗り、落ち着いた時期に、「各地区の集積場への搬入」も含めた検討を始めたい。しばらくは時間的な余裕をいただきたい。

【質問2】 合併後、約3年が経過した。市民には、合併に対する不安があったと感じるが、現在まで混乱もなく、今日に至ったのは市長のリーダーシップにかかる部分が大であったと考えている。そこで、市長は3年を振り返り、現在に至るまでの市政をどのように評価しているのか伺う。

【市長】 合併により変わったことは、「市職員の意識が大きく変わったこと」と「専門部署が多くできたこと」である。

また、「情報化システム」については高い評価を得ている（三重県下トップ、全国で15位）。さらには「文書管理」もシステム導入により大きく前進。

なお、今後の大きな課題は、市の一体的整備と効率的な運用であると考えている。



大安粗大ごみ場



小林昌彦

商工会と地域振興
~地域のさらなる発展に向けて~

【質問】 各町商工会は、1月の臨時総会において、解散と合併につき会員の承認を得たところである。合併すれば会員数が約1,200名となり、北勢ブロックでは最大の商工会となる。

しかし、商工業の現状は依然厳しく、小売業のほとんどは「大手スーパー」、「コンビニ」などの進出の影響を受けるとともに後継者難で悩んでいる。また、多くの製造業においては工賃の上昇が全く見られず、設備投資もままならない状態にある。そのため、さらなる商工会への支援を要望する。については、「利子補給金制度の拡充」・「特産品対策」・「地産地消対策」などを願いたく、新商工会との意見交換の場を設けることを求める。

また、4町の商工会の一本化による圏域の統合に伴う「商工会」、「各種団体」、「各地域」への振興策についても伺う。

【市長】 商工会には「いなべのブランド化」に寄与するような特産品を考えていただくとありがたい。なお、市からの補助は昨年度と同様と考えている。

地元特産品の活用については、市としての最大の消費である学校給食において、現在、藤原産の「米」や地元産の「こんにゃく」、「芋」などを使っている。しかし、野菜までに至っていないため、今後は委託栽培に結びつけることを検討していくことが課題。

商工会の各種イベントには大いに期待をしている。今後は、商工会と市が一緒になり、商工業の発展に向けていきたい。また、イベントなどの活性化事業にも協力いただきたい。



北勢庁舎内にある いなべ市商工会の本所

近藤 幸洋



フェロシルト 搬出の
現状は
～藤原町鼎地区、
総量112,684 t～

【質問】 平成18年5月29日に搬出が始まり、10カ月経過した。計画どおりには進んでいないように思われ、地元ではまた先延ばしするのではないかと不安が高まっている。そこで以下3点につき伺う。

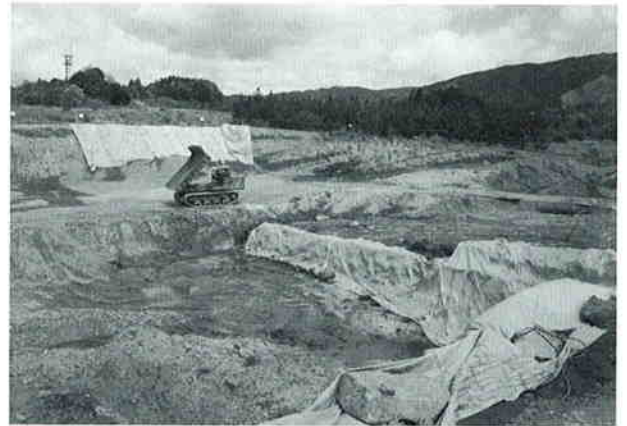
①撤去の状況は。②石原産業からの中間報告はあるのか。また、今年6月までに撤去完了できるのか。③今後の市の指導体制は。

【市民部長】 ①2月26日現在の回収量（搬出数量）は65,434 t（回収率58.1%）。石原産業提出の計画書では2月末の計画回収量は80,180 tとなっている。そのため、現段階では約14,000 t遅れていることになる。②中間報告では、今後、搬出台数を1日40車から1日50～60車に増やし、1ヵ月10,000 tであった回収量を12,500 tから15,000 tに引

き上げれば、諸条件に問題がない限り6月末には完了するという内容となっている。なお、この報告は鼎自治会にも行われている。

また、諸条件により遅れが出たとしても、長期の延長はないと思われる。③現地の監視・指導については、石原産業による水質検査・搬出状況の把握・放射線などの調査を月1～2回程度、地元自治会および県の現地立ち会いのもと実施している。

さらには、市の独自調査として周辺の水質試験を3ヵ月ごとに8ヵ所で行っているが現在のところ問題はない。



フェロシルト撤去の作業現場（鼎地内）

伊藤 弘美



小学校で
放課後教室の実施を
～子育て支援の拡充に向けて～

【質問】 報道によると、文部科学省と厚生労働省は、出生率の低下などに伴う人口減少に歯止めを掛けるとともに、全国各地で児童の悲惨な事故が発生していることなどを踏まえ、子育て支援の一環として、本年4月より、全国の小学校において「放課後子どもプラン」を実施していこうということである。経費は国・県・市の負担である。

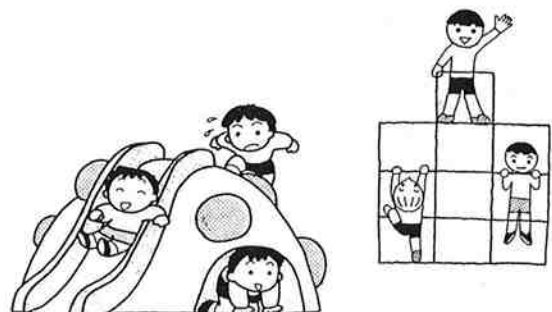
なお、群馬県太田市においては、少子化対策として『第3子以上』の教育費を中学校卒業まで免除し、その分を行政が負担をしている。

現在、経済は上向いているというものの実感はなく、若い夫婦は共稼ぎを余儀なくされるため育児が手薄となり、子育てを心配されている家庭が多い。市長は施政方針の中で、少子化を食い止めるには、安心して出産ができ、子育てしやすい環境づくりが

必要と述べている。「いなべ市」としては、国の指針に基づき、小学校での「放課後子どもプラン」を実施する計画はあるのか。

【教育長】 実施するには課題も多い。2つ以上の「空き教室」や「管理室」・「学習室」の確保の問題、「安全管理員」や宿題を見る「支援員」の確保である。今後は、現在稼働している民間の「放課後児童クラブ」との関係を踏まえながら、研究検討していきたい。

【市長】 「いなべ市」の小学校では、夏場は16時30分、冬場は16時まで学校で過ごすことができる。それ以降は「放課後児童クラブ」へお願いしたい。





種村正巳

- 1.市道・西方菖蒲池
上笠田線の道路整備を
～いなべ総合学園前の路線～
- 2.合併特例債の
活用状況と今後

【質問1】 年々交通量が増加し、事故も多発している。部分改修や歩道の併設は検討しているのか。また、員弁川左岸の「上笠田・阿下喜間」の道路整備についてはどうか。

【市長】 現在、「員弁大安連絡道路（仮称）」の事業化に向け、県と協議を行っている。ルートは『吉備川を渡り、石仏地内へ』という案もあったが、東寄りにとり、国道421号線へ接続するルートで協議を進めている。ついては、県事業である「員弁大安連絡道路（仮称）」の整備に併せ、「市道・西方菖蒲池上笠田線」の吉備川近辺の整備を考えていきたい。

また、員弁川左岸道路については、諸事情により道路整備が難しい。「県道・北勢多度線（員弁街道）」や「員弁川右岸側の国道365号」の整備などにより、交通量は緩和されると想定している。

【質問2】 「いなべ市」の合併特例債の借入限度額はいくらか。また、現在までの合併特例債の活用状況と今後の活用方針は。

【市長】 合併特例債の借入限度額は「建設事業分」として210億5千万円。その内、平成19年度末はトータルで43億9,200万円（約20%）の借入となる。

また、「基金分」としては24億7千万円。「基金分」はすべて借り入れたため、すでに償還が始まっている。

今後7年間のうちに、できるだけ合併特例債の有効活用をしていきたい。ただし、財政力が付くと地方交付税の不交付団体になる場合もある。そういったことも含め、今後も健全財政を第一に考えていきたい。



西方菖蒲池上笠田線（いなべ総合学園東）



位田まさ子

1. 観光の振興で
魅力あるまちに
2. 障害者施設の今後は
～コスモス、たんぼほ、ふじわら作業所～

【質問1】 市内には、藤原町の「湧き水」・「梅林公園」・「ぼたん園」、北勢町の「青川峡キャンプパーク」・「阿下喜温泉」など、自慢できる所がたくさんある。

そこで、①季節ごとのさまざまな観光コースを設定しPRを推し進めるなど、観光の振興に力を注いでどうか。②お年寄りの方が、仲間とともに市内の観光スポットを1日で巡れるような「交通手段」の検討を進めてほしい。

【市長】 ①観光の振興も図っていきたい。今年の「梅まつり」には、三重県観光局のプロデューサーの協力を得て、3施設（梅林公園・青川峡キャンプパーク・阿下喜温泉）合同の特別プランを企画した。今後もそのような合同でのプランにより、1

年を通して集客に取り組んでいきたい。

【農林商工次長】 ②一人暮らしの方たちが友達と気楽に市内を見て廻れるよう、タクシー会社に対し、料金面も含め相談することなどを検討していきたい。

【質問2】 「障害者自立支援法」の施行に伴い、「たんぼほ作業所」・「コスモス作業所」・「ふじわら作業所」の今後はどうなるのか。

【福祉部長】 作業所としては、自立支援事業所への移行時期などの検討を進めたいとしており、今後は、関係機関（社協・保護者会・支援団体・行政）で協議をするとの方針である。なお、作業所は、社会福祉協議会の運営であるため、市は統廃合に関する裁量権を持っていない。



ぼたん園



奥岡 征士

1. 平成18年度の事業の評価は
～評価に基づき、
平成19年度の施政方針を～
2. 給食費と保育料の未納状況と保育園(保育所)の入所手続きの簡素化を

【質問1】 平成18年度における主な事業につき、市長自身の評価は。特に民間活力の導入と施政方針で述べた「もったいないを形に」の中身を詳しく伺いたい。

【市長】 PFI（民間資金活用）方式による「バンブーハウス（大安町にある知的障害者通所授産施設）」の建て替えを検討したが、合併特例債を利用する方が財政面等で有効と判断し、「障害者支援センター」の機能を持ち合わせた施設として建設することとした。

「もったいないを形に」の中の、「空き家バンク構想」は、市が開設する空家情報バンクを通じて、市が空き家の提供者と利用者の『橋渡し』をするという構想である。「中古車の活用」については、市の公用車に適用していきたい。

また、市の財政面を見るならば、平成18年度の最終的な予算額190億円余は多いと思っている。今後は身の丈に合った類似団体の予算規模である165億円程度までに抑えていきたい。

【質問2】 ①給食費と保育料の未納は。②保育園(保育所)の入所手続きの簡素化を。なぜ、「就労証明」や「家族状況調査票」などが必要か。

【教育次長】 ①平成17年度の給食費の未納額は、小学校が20名で約45万円。中学校は11名で約40万円。

【福祉部長】 ①平成17年度の保育料の未納は、18人の約43万円。②事務上必要であるため、これ以上の簡素化はできない。



川瀬 利夫

1. 県道・南濃北勢線のルート変更はあるのか
～飯倉阿下喜間～
2. 市道・阿第114号線
交差点の安全対策
～阿下喜駅前・六石～



【質問1】 用地買収が進んでいるがルートの変更はあるのか。過去、北勢町時代において、三重県と検討を重ねた結果、現在の計画ルートが決定した。この計画ルートを変更するならば、家屋移転などが生じ、困難になるのではないか。

【市長】 阿下喜小学校の西を通るルートにつき、地元からは交通安全上に問題があるとし、通学路を立体交差にすることを要望も受けている。また、ルート変更の要望もあると聞いている。

市としては、ルートは変えず立体交差または掘割による安全面の確保につき県と協議を行っているが、これには莫大な事業費が掛かる。

今後は、地元住民との話し合いを行うとともに、県とも協議を進め決定していきたい。

【質問2】 市道・阿第114号線の開通により、本町通りとの交差点ができる。この交差点は、増加が予想される車と、阿下喜駅・阿下喜温泉・病院を利用する高齢者や学生が交錯し危険である。現段階での信号機の設置予定はないと聞かすが、この交差点における市民の安全面はどのように考えているのか。

【市長】 安全対策については、阿下喜駅前交差点・六石交差点を含め、警察の指導どおりの施工を行っている。

阿下喜駅前交差点の信号機設置については、市の判断で設置することはできない。警察は、開通後の実態交通量を把握し検討するということであるが、市は引き続き警察に対し強く要望していく。



県道・南濃北勢線（飯倉方面を望む）



水谷 治喜

土地開発公社の情報公開
につき問う
～より開かれた公社に～

【質問】 土地開発公社は、公拡法に基づき設置された会社である。「地方公共団体に代わって、土地の先行取得を行うことなどを目的とする」という規定からも、地方公共団体の分身というべきものである。

その土地開発公社の情報公開の是非であるが、平成12年の「特殊法人情報公開検討委員会（自治省・建設省）」での見解によれば「地方公共団体の情報公開条例において土地開発公社を情報公開実施機関とすることは法的に問題はない」とされる。

また、土地開発公社を情報公開実施機関とすることは、公拡法から解釈すれば、特段の問題はないのではないかと。現に多くの地方自治体は、土地開発公社を情報公開実施機関に含めている。

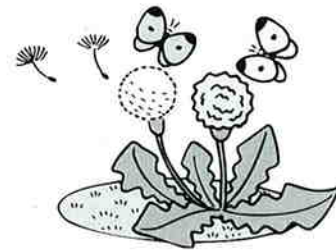
今後は、員弁土地開発公社の「いなべ市の関係部

分」については、公社運営の一層の透明性の向上と市民の理解・信頼を深めるとともに公正で開かれた公社運営に資するため、「いなべ市情報公開条例」の情報公開対象機関に追加するか、「員弁土地開発公社の情報公開規定」の整理を行う必要があると考えるがいかがか。

【市長】 土地開発公社の「いなべ市の部分」の入札結果については何らかの形で公表を検討。

「いなべ市情報公開条例」の情報公開実施機関への追加は、入札結果の公表の様子を見た上で、まだ、透明性が図れないということであれば、その時点で検討したい。

なお、入札結果の公表については東員町との協議も要するため、そのための協議を開始したい。



衣笠 民子



1. 員弁・北勢中学校の給食は
自校、市の直営で実施を
2. 国保料の資産割廃止による
負担増に激変緩和措置を
3. 子どもの医療費助成の
年齢引き上げを

【質問1】 員弁・北勢中学校の給食実施の形態は。民営化への考えは。給食における地産地消の推進への考えは。

【市長】 北勢中学校の給食は、敷地内にセンターを建設し行う。北勢町内各小学校の給食は、各小学校の調理室をドライ方式に改修し、そのまま自校で行う。

員弁西小学校は、新築後に大安給食センターからの配送という計画になっている。よって、員弁中学校も大安学校給食センターからの配送を考えている。

自校方式の方が良いという意見は貴重な意見として賜っておく。民営化は、北勢中学校給食実施予定の平成22年4月までの検討課題。地産地消は一部で導入。今後、野菜についてはJAファーマーズと検討中。委託栽培をして供給できるのが理想。

【質問2】 固定資産のない人には大きな負担増になるが激変緩和の措置は。

【市長】 大きな変化はない。法律上、激変緩和の措置はできない。

【質問3】 子どもの医療費助成の年齢引き上げが近隣の市町で進んでいる。「子育てしやすいまち」を「いなべブランド」にすべく、計画的に引き上げを図ってはどうか。

【市長】 市独自で進めるのではなく、三重県福祉医療制度の中ですべき。市長会を通じて提案をしていく。



大安学校給食センター



石原 瞭

1. 全国一斉学力テストは
行うのか
2. バンブーハウスの建て
替えとして建設しようと
する施設の役割は

【質問1】 文部科学省は、4月24日に日本中の小学6年生と中学3年生を対象にテストを行う。

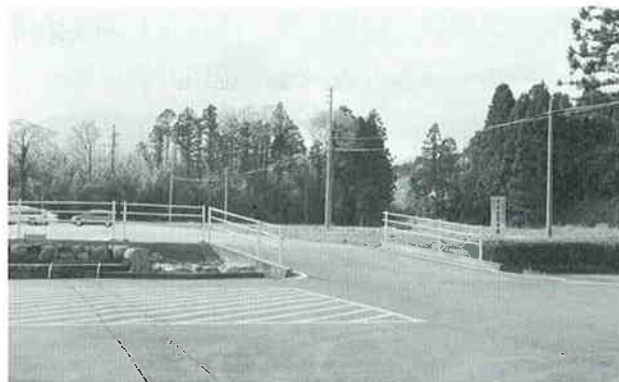
学力テストは、結果の公表とセットになっており、学校や教師への外部評価が加わり、最終的には親たちが学校を選ぶ"教育バウチャー制度"導入への道を開こうというのが、安倍首相の「教育再生プラン」である。

なお、テストは国が強制できないため、行わないかの決定権は市の教育委員会にある。については「いなべ市」はどうするのか。また結果の公表は。

【教育長】 「いなべ市」は、この学力・学習状況調査に協力する。学校間の序列など過度の競争をおよぼすような公表は予定していない。

【質問2】 バンブーハウスの建て替えの予算計上がされている。障害者の施設を行政はどうしていくのか。また、今回建てる施設にどのような役割を持たせるのか。

【市長】 「障害者支援センター」として建て替える。知的障害者の通所授産施設「バンブーハウス」の老朽化に伴う事業であり、障害者の生活を地域全体で支えるシステムの実現と就労や自立に向けたサービス体系の確保と充実を図るため、市が建設する。自立支援給付・訓練給付・地域生活支援などの機能を併せ持った障害者施設で、事実上の運営は「バンブーハウス」に依頼をする。



障害者支援センターの建設地は大安町の中央公民館西

議会の傍聴に来てください

誰でも行けるの？

市民でも市民でなくとも、どなたでも傍聴できます。

議場はどこにあるの？

大安庁舎の2階です。議会当日は、傍聴の案内の表示があります。



いつでも傍聴できるの？

予約の必要はありません。手続きは、受付で住所と氏名を書いていただくのみです。

開催日などの確認は？

開催日と開始時刻は前もってご確認ください。6月定例議会の開会日と閉会日の予定は22ページ（裏面）のとおりですが、一般質問の日程などは、開会日の約1週間前から「いなべ市のホームページ」の中「市議会のページ」において詳しく掲載します。

また、いなべ市議会事務局へお電話くださっても結構です。

いなべ市議会事務局（電話 0594-78-3515）

委員会の活動報告

総務常任委員会

付託案件の審査 3月13日（16議案）

- 公平委員会設置条例を廃止する条例について (全員賛成)
- 副市長の定数を定める条例の制定 (全員賛成)
- 地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定 (全員賛成)
- 障害者自立支援法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定 (全員賛成)
- 情報公開条例及び個人情報保護条例の一部改正 (全員賛成)
- いなべ市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正 (全員賛成)
- 委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正 (全員賛成)
- いなべ市職員の給与に関する条例の一部改正 (全員賛成)
- 三重県市町公平委員会への加入に関する協議について (全員賛成)
- 桑名・員弁広域連合規約の変更に関する協議について (全員賛成)
- 三重県市町職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少に関する協議について (全員賛成)
- 三重県市町職員退職手当組合規約の変更に関する協議について (全員賛成)
- 三重県自治会館組合規約の変更に関する協議について (全員賛成)
- 三重県地方税管理回収機構規約の変更に関する協議について (全員賛成)
- 平成18年度一般会計補正予算（第7号）のうち総務常任委員会の所管 (全員賛成)
- 平成19年度一般会計予算のうち、総務常任委員会の所管 (全員賛成)

委員会での質疑

副市長

Q 副市長の職務内容は。

A 重要事項・政策および企画などの立案が主な職務である。なお、委任する事項は指定しない方向で検討。総括的に重要事項を指揮監督することになる。

行政改革

Q 平成19年度の行政改革の予定は。

A 行政改革大綱につき、行政改革推進委員会において審議を行っている。8月頃に答申を受ける予定。

員弁地域のコミュニティバス

Q 員弁地域の利用の現状は。

A 乗車人数は、1回の巡回の平均として、西ルートが9人弱、東ルートは2人に至っていない。今後、北勢地域・藤原地域・大安地域の各地域での運行を進めるに当たって員弁地域における状況を十分分析のうえ、少しでも多くの市民が利用されるよう検討。

固定資産税

Q 市へ納入される固定資産税が年々減少していくのか。

A 平成18年度との前年比減少は、評価替えに伴うものである。平成19年度予算案は、償却資産の減価方法が改められる予定であるため、前年比減で計上した。



教育民生常任委員会

付託案件の審査 3月13日・14日 (13議案)

- | | |
|--------------------------------------|--------|
| ○国民健康保険条例の一部改正 | (賛成多数) |
| ○地域包括支援センター条例の一部改正 | (全員賛成) |
| ○健康増進施設阿下喜温泉条例の改正 | (賛成多数) |
| ○健康増進施設阿下喜温泉の指定管理者の指定 | (賛成多数) |
| ○桑名広域清掃事業組合規約の変更に関する協議について | (全員賛成) |
| ○平成18年度一般会計補正予算(第7号)のうち、教育民生常任委員会の所管 | (賛成多数) |
| ○平成18年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号) | (全員賛成) |
| ○平成18年度老人保健特別会計補正予算(第2号) | (全員賛成) |
| ○平成18年度介護保険特別会計補正予算(第3号) | (全員賛成) |
| ○平成19年度一般会計予算のうち、教育民生常任委員会の所管 | (賛成多数) |
| ○平成19年度国民健康保険特別会計予算 | (賛成多数) |
| ○平成19年度老人保健特別会計予算 | (全員賛成) |
| ○平成19年度介護保険特別会計予算 | (全員賛成) |

委員会での質疑

地域包括支援センター

Q 新設となる「いなべ市北地域包括支援センター」は市の直営か。

A いなべ市社会福祉協議会への委託を考えている。理由は、設置基準をクリアしているとともに、以前の在宅介護支援センターにおける実績もあるため。

Q 大安学校給食センターの改築工事には、幾らほど掛かるのか。

A 増改築費に設備費などを加えると、現在においては、約2億4,500万円と想定。耐用年数も考慮して行うため、リニューアルに近い工事になると考えている。

平成19年度予算

Q 資源ごみ収集団体育成補助金が前年度に比べて減るのは。

A 子ども会などの環境教育の一環として実施している廃品回収事業は、引き取り単価の下落により、その活動資金を補助する目的で実施されている。近年、引き取り単価も相当上がってきた実情も勘案し、バランスを取るという形で、1kg当たりの補助金を5円から3円に下げたい。

Q 「ことばの教室」は、どの小学校にあるのか。

A 市内の言語障害や難聴といった障害を持つ児童が、特別な教育を受けるための教室で、現在は石榑小学校内に設けている。

Q 外国人英語指導助手『ALT』に関し、昨年度と変わった点は。

A 平成19年度からは、英語教育ができる専門的な教員を民間の専門機関を通じて招致することにした。

Q 障害者タクシー料金の助成は、年間に何回分受けることができるのか。

A 対象者からの申請があれば、初乗り料金630円の子チケットを、月2回の12カ月分として、1年分まとめて交付している。申請については、従来からのすべでの利用者に通知をしており、市の情報誌「リンク」やホームページでもPRしている。



いなべ市議会だより

産業建設常任委員会

付託案件の審査 3月13日（12議案）

- 下水道条例の一部改正 (全員賛成)
- 公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正 (全員賛成)
- 平成18年度一般会計補正予算（第7号）のうち、産業建設常任委員会の所管 (全員賛成)
- 平成18年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号） (全員賛成)
- 平成18年度下水道事業特別会計補正予算（第3号） (全員賛成)
- 平成18年度水道事業会計補正予算（第3号） (全員賛成)
- 平成19年度一般会計予算のうち、産業建設常任委員会の所管 (全員賛成)
- 平成19年度住宅新築資金等貸付事業特別会計予算 (全員賛成)
- 平成19年度農業公園事業特別会計予算 (全員賛成)
- 平成19年度農業集落排水事業特別会計予算 (全員賛成)
- 平成19年度下水道事業特別会計予算 (全員賛成)
- 平成19年度水道事業会計予算 (全員賛成)

委員会での質疑

公共下水道事業の進捗状況

- Q 幹線工事が終了していない地区は。
- A 幹線工事の遅れにより2～3パーセントが終了していない。そのため、受益者負担金は旧町の条例に基づいた金額をいただくことになる。

阿下喜本町通の舗装

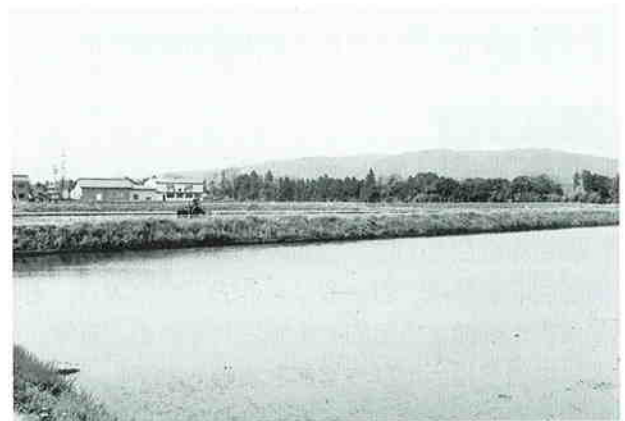
- Q 全面的に舗装改修するのか。
- A 現在、浸透性のカラー舗装であるが、路床の改修を含め、全面的な改修工事を計画している。



本町通り

地元発注工事への補助

- Q 地元が行う農業土木事業への補助は。
- A 10万円以上40万円以下の小規模な農地・農業用施設の整備に対しては、80%の補助金を出している。



3月定例議会

みんなことが決まりました

☆平成18年度の一般会計、特別会計、水道事業会計の補正を可決しました。

		補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計		180億9,882万6千円	11億7,966万3千円	192億7,848万9千円
特別会計	住宅新築資金	5,054万3千円	0円	5,054万3千円
	農業公園	1億5,620万円	0円	1億5,620万円
	国民健康保険	39億1,215万8千円	288万1千円	39億1,503万9千円
	老人保健	46億2,573万1千円	△2億3,720万8千円	43億8,852万3千円
	介護保険	21億2,468万7千円	△347万4千円	21億2,121万3千円
	農業集落排水	2億6,826万3千円	△507万4千円	2億6,318万9千円
	下水道事業	20億908万円	136万6千円	20億1,044万6千円
水道事業会計		16億5,628万8千円	△4,260万8千円	16億1,368万円
合計		329億177万6千円	8億9,554万6千円	337億9,732万2千円

平成19年度予算については、3ページをご覧ください。

☆副市長が決まる

議会の同意を経て、副市長に大槻英治氏（43歳）が選任されました。任期は4月1日から4年。

※地方自治法の一部改正により、助役がなくなり副市長制になりました。

大槻英治氏……昭和38年9月生まれ。前職は国土交通省近畿地方整備局河川国道事務所長。

☆人権擁護委員4名の推薦につき同意

本定例議会において、樋口正美氏（大安町丹生川中）、大西保雄氏（北勢町阿下喜）、寺本喜晴氏（大安町石樽南）、伊藤逸子氏（藤原町川合）の4名の推薦につき同意。

☆固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意

藤田博道氏（北勢町麻生田）が議会の同意を経て任命されました。

☆監査委員の報酬を日額から月額に

職務内容に見合う報酬にするための改正。

	改正前	改正後
監査委員（識見を有する）	日額 9,000円	月額 140,000円
監査委員（議員のうちから選出）	日額 9,000円	月額 40,000円

☆国民健康保険料の算定基準から「資産割」が除かれます

平成19年度から「資産割」、「所得割」、「均等割（被保険者）」、「平等割（世帯）」の4方式による算定を改め「資産割」を除いた3方式に変わります。

☆地域包括支援センターが市内2カ所に（南地域包括支援センター、北地域包括支援センター）

大安庁舎内にある地域包括支援センターは南地域（大安町・員弁町）の所管に。新しく設けられた北勢福祉センター内の地域包括支援センターは、社会福祉協議会に委託し、北地域（北勢町・藤原町）を所管とします。

☆阿下喜温泉の管理運営が指定管理者に

管理運営の効率化のため、指定管理者制度を導入。入札、議会の議決を経て、4月より民間の「大新東株式会社（東京都港区）」が施設の管理を代行しています。指定期間は3年。

指定管理者制度……公の施設の管理運営を市が指定した団体に代行してもらう制度。

いなべ市議会だより

反対 VS 賛成

反対・賛成双方の討論があった議案は次のとおりです。

「国民健康保険条例の一部改正」

「資産割」・「所得割」・「均等割（被保険者）」・「平等割（世帯）」の4方式による保険料の基礎賦課額の算定方式を、平成19年度から「資産割」を除いた3方式に改めるための議案。

反対討論

当市の保険料総額のうち、資産割によるものは15%と決められている。しかし、現実には約20%に上っており、県下で2番目に高い比率となっている。資産割の比率を本来の15%に近づけようとするならば分かるが、今回の提案は資産割を全廃し、所得割の比率を引き上げるという内容である。『一人当たり平均の保険料は変えない』ということだが、個々には大きく変わる。

市長は『所得はなくとも、資産が多いため、保険料が高くなる方がいる』と提案説明の中で述べたが、納得のいく事例や状況の提示はなかった。そのような方が見えるのならば、そのような方に対する別の施策を講ずるべきである。

以上のことから、旧町時代より住民の合意を得ていた保険料賦課の枠組みを大きく動かす本改正案に反対する。

賛成討論

資産割を算定に含むことは、公平さに問題があると感じていた。それが廃止をもって改善されるならば、保険料算定の合理性が確保される。

よって、本改正案に賛成する。

「健康増進施設阿下喜温泉条例の改正」

阿下喜温泉内にあるトレーニングルームの利用料を定めるための議案。利用料は1人（小学生以上）1回につき300円以内として提案。

反対討論

トレーニングルームの利用を有料化にしても利用料は指定管理者に入り、市の収入にはならない。料金設定をして住民から利用料を取り、企業の利益につなげようとする本議案には賛成できない。

賛成討論

トレーニングルームの利用料は、本来ならば前回の条例改正において定めるべきものであった。

利用料の設定は、指定管理者へ運営委託するに当たり必要な事項である。なお、利用料は他市の類似団体を参考にしており、適当な金額と考える。

よって、本議案に賛成する。

「健康増進施設阿下喜温泉の指定管理者の指定」

阿下喜温泉の指定管理者として、民間の大新東株式会社（東京都港区）を指定しようとする議案。

契約期間は、平成19年4月1日から平成22年3月31日までの3年間。

反対討論

民間の営利企業を指定管理者に指定することになれば、「いなべ市」が全く違う方向へ乗り出す転換点になる。市が責任を持たねばならない福祉の仕事を民間業者に投げ出す指定管理者制度の問題点をもう一度考えなければならない。阿下喜温泉の役割は健康増進施設である。多額の税金を使って企業の営利に供するこの提案には反対する。

賛成討論

指定管理者の導入が適当かどうかという点については、昨年の議会において認められているため、議論の対象外と考える。今回審議すべきは、指定管理者が適当かどうかということである。

提案の指定管理者は、多数の公募の中から指定管理者選定委員会の協議員申を経て選ばれた業者である。指定管理者選定委員会の選定を尊重し、契約しようとする本議案に賛成する。

「平成18年度一般会計補正予算（第7号）」

歳入・歳出ともに11億7,966万3千円の追加で提案。予算総額は192億7,848万9千円に。

反対討論

今回の補正予算案には、後期高齢者医療制度導入に関わるものが含まれている。後期高齢者医療制度は住民にとっても地方自治体にとっても問題が多い制度である。

住民の目線で判断すれば、到底賛成できない。

賛成討論

後期高齢者医療制度事務委託料が計上されているが、これは、平成19年2月1日に設立した「三重県後期高齢者医療広域連合」での事務処理に対し、県内の市町がそれぞれに備え、準備すべき重要なものである。他にも年度末における精査によるものが多く含まれていることから本議案に賛成する。

「平成19年度一般会計予算」

一般会計の当初予算。歳入・歳出ともに185億5,000万円。前年比では5.6%の増。

反対討論

合併後、次々と広がった負担増により、市民の置かれた状況は大変になっている。

このようなときの予算は、弱い層への援助の強化が必要である。地方自治体は、格差の広がりにより、大変になっている市民生活を応援し、市民のニーズに応えることがますます重要になってくる。

しかし、予算案を見れば、1つの自治会に対して支払う「野入溜」の借地料が本年度も1,000万円計上されている。また、住民基本台帳ネットワークシステムは利用者も伸びず必要性を感じられないばかりか住民の情報の集中化にも懸念がある。さらに、阿下喜温泉は指定管理者の管理運営に移行するが、多大の投資も行われようとしている。これらのことが住民の健康増進につながるのかは疑問である。

また、小学校の机・椅子を毎年新しく購入していく施策は現場からの要望ではない。現場が必要とするものに予算を付けるべきである。

以上のことから本議案に反対する。

賛成討論

本予算案は、事業の選択と重点化に取り組むという方針のもと編成されており、厳しい財政状況の中、前年度比5.6%の増の努力は評価すべきと考えている。

総合計画に示された施策の実現化に向けての予算ということで、特に員弁西小学校の建設や障害者施設の建設は長年の懸案事項であった。

また、阿下喜温泉の休憩施設の建設については、住民要望を積極的に取り入れている。

以上のことなどを評価し、本予算案に賛成する。

「平成19年度国民健康保険特別会計予算」

一般会計の当初予算。歳入・歳出ともに42億4,961万円。前年比では14.8%の増。

反対討論

保険料を引き上げる措置については大いに評価したいが、保険料の算定方式を4方式から資産割を除く3方式に変更することにより賛成できない。

賛成討論

本会計予算は、そもそも医療に掛かる費用を加入者が負担し合う互助精神に基づいた制度である。

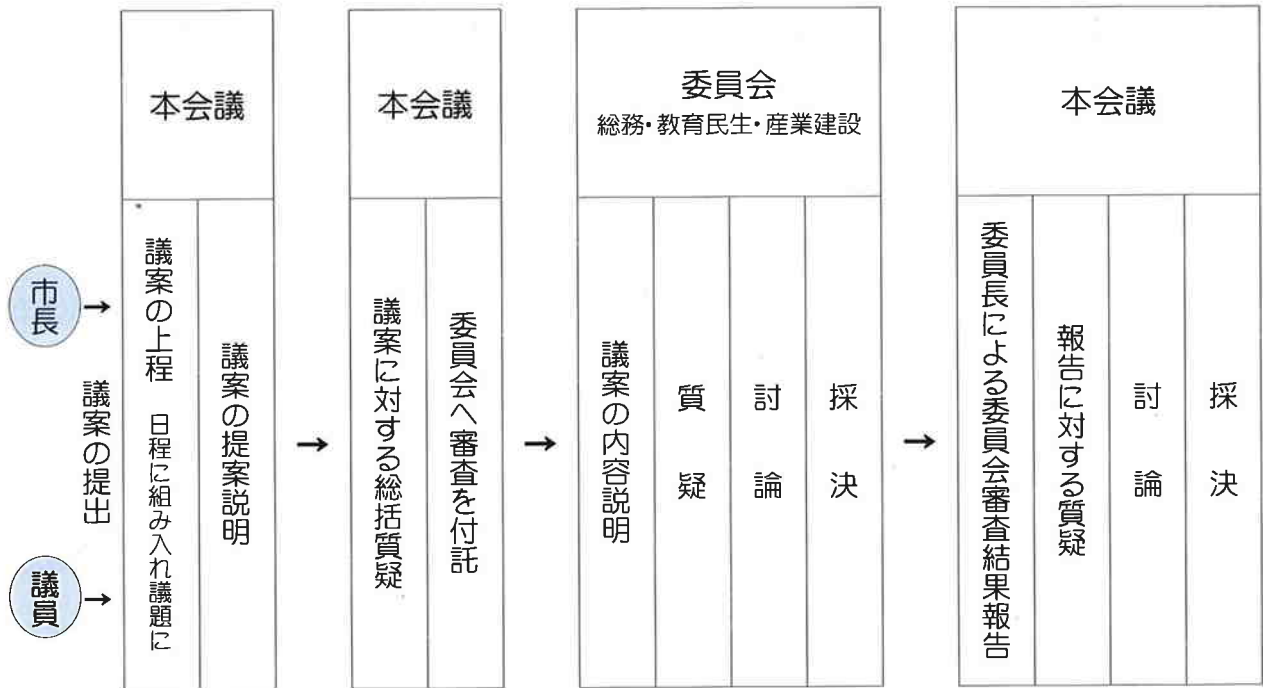
資産割廃止を含む改正案として提出のあった、議案「国民健康保険条例の一部改正」が先ほど賛成多数により可決された。反対討論では、資産割廃止を反対理由に述べられたが、改正案が可決した以上、本予算は当然承認するべきである。

議会活動日誌

月 日	内 容	場 所	月 日	内 容	場 所
2月21日(水)	議会運営委員会	大安庁舎	3月14日(水)	常任委員会 (教育民生)	大安庁舎
28日(水)	3月定例議会 本会議《開会日》 (施政方針、提出議案説明ほか)	〃	22日(木)	3月定例議会 本会議《閉会日》 (各常任委員会委員長の審議結果報告、議案に対する質疑・討論・採決)	〃
〃	広報特別委員会 (編集計画ほか)	〃	29日(水)	員弁土地開発公社 理事会	員弁庁舎
3月5日(月)	議会運営委員会	〃	4月10日(火)	東海市議会議長会 定期総会	四日市市
7日(水)	3月定例議会 本会議 (一般質問)	〃	13日(金)	広報特別委員会 (編集と原稿の校正)	大安庁舎
8日(木)	〃 (〃)	〃	20日(金)	議会運営委員会	〃
12日(月)	議会運営委員会	〃	〃	全員協議会	〃
〃	3月定例議会 本会議 (総括質疑ほか)	〃	25日(水)	広報特別委員会 (原稿の最終校正)	〃
13日(火)	常任委員会 (総務・教育民生・産業建設)	〃	27日(金)	臨時議会	〃

議案の提出から採決までの流れ

議会に提出された議案は、通常、各常任委員会の審査を経て、その結果を基に本会議において審査のうえ採決を行います。



議案とは市長、議員が議会に提出する案件のことをいいます。条例の制定・改廃、予算の決定、決算の認定などがほとんどですが、議会の意思を決定する議案として、意見書の提出、議会の会議規則の制定などもあります。

議案の修正

議員は、議案の内容につき、削除・減額・追加などを行いたい場合は、規則にのっとり修正案を提出することもできます。ただし、予算の増額修正については「市長の提出の権限を侵すことはできない」と法で謳われています。

市議会と市長の関係

皆さんの代表として選ばれた議員が集まり、市の仕事につき審議をし、意思決定をするところが市議会です。そのため、市議会は「議決機関」といわれています。それに対し、市長は、「執行機関」といわれ、市議会の決定により仕事を進めていきます。

市議会と市長は、それぞれ独立した機関として対等の立場にあります。市がよりよい方向に進むための例えとして、市議会と市長の関係は「1歩離れて2歩以上離れないことがベスト」といわれています。





市民の声

クイズに応募された「はがき」に書き添えられた、議会や議会だよりに対するご意見・ご感想を紹介します。

- ▶ 第4日曜日には、あじさいクリンセンターへのごみの搬入ができましたが、19年4月からはどうなりますか？今までとても便利でしたので継続をお願いします。 67歳 女性
- ▶ クイズが登場したおかげで、中をじっくり読むようになりました。 47歳 女性
- ▶ 「議会だより」を読むことにより、いろいろなことが分かります。議会を見に行けませんので大変有意味です。 68歳 男性
- ▶ 紙面に書いてあった「用語」の意味が分かりませんでした。時々、言葉の解説もよろしく。 73歳 女性
- ▶ 市は、どんなことでも住民すべてに同じ方法を。 50歳 男性
- ▶ 毎号楽しみに読ませてもらっています。 男性
- ▶ 「議会だより」にあまり関心がなかった私ですが、クイズコーナーのおかげで、紙面の隅まで読むようになりました。活字の大きさも読みやすいです。 55歳 女性
- ▶ いつも「議会だより」を楽しみにいたしております。議員一人ひとりの活躍が読み取れます。市民の住みよいように努力していただけるよう願っています。 62歳 女性
- ▶ 家の中ばかりに居る私には、大変近況が分かり嬉しく思います。 77歳 女性
- ▶ もえるごみ用の袋のサイズ追加の一般質問は、とてもいい考えだと思います。市長の答弁で「用意したい」とのことですが、たとえば、市内のスーパーなどに協力いただき、現在スーパーのレジで渡している袋に『もえるゴミ用』と印刷してもらい、その袋を「もえるゴミ用の袋」として使用できるようにしてはどうでしょうか。 46歳 女性
- ▶ 「議会だより」は、質問と答弁の内容が本市でどのように進められているかということがよく分かります。また、後日に読み返すこともできます。機会があれば議会を傍聴したいと思います。 女性
- ▶ 「議会だより」の一般質問で、どの議員が何に力を入れているのかが分かりよかったです。 40歳 男性
- ▶ 行政に対する質問と、それに対する答弁が具体的に示されていることには、真実味があり、実行するように努力して下さると思いました。(信じています!) 今後、議員さんからも、悩みや市民に聴いてみたいことなどを掲載してはどうでしょうか。 55歳 女性
- ▶ 「水田農業構造改革対策事業」など、いろいろな分からないことが多いです。これからも興味深く勉強して「以前同様に農業ができるといいなあ」と思っています。 60歳 女性
- ▶ 「議会だより」は、各議員の考えや質問内容等がよく分かり、また編集されていて、読みやすいと思います。 41歳 女性
- ▶ 字は大きくて読みやすいのですが、少しスペースが多くないでしょうか。空きがもたないような気がします。表紙以上に大きい字も不要かも。個別の写真まで入っているのだから、もう少しコメントを入れるとか工夫があってもよいように思います。 女性
- ▶ 「市政・市議会は、議員さんたちのこと！」と、今まではあまり関心もなく過ごしてきましたが、子どもたちが安心して生活できる地域を目指してほしいと思います。 56歳 女性
- ▶ 「議会だより」は、いつも楽しみに読ませていただきます。多くの問題がありますが、近隣に劣らないような「いなべ市」の発展を期待いたします。
- ▶ インフルエンザ予防接種の自己負担金は、高齢者と乳幼児で差がある。孫のため、乳幼児の助成につき検討していただきたいと思います。 女性
- ▶ 議員さんも「いじめ問題」を掲げてみえるが、公約でなく真剣に取り組んでいただき、「いなべ市」から「いじめ」という言葉がなくなるようにしてほしい。いまわしい犠牲者がでないうちに、本人、先生(学校)、親とで話し合い、根底から根治するよう働いてほしいと思います。 67歳 女性
- ▶ 市長さんは一生懸命市行政に尽力いただいています。「いなべ市」のためにこれからもよろしく願います。 68歳 男性
- ▶ 議員の皆さんは、私たち市民の代表と思って頑張ってください。 女性
- ▶ 安全に暮らせる社会にしていきたいです。 42歳 女性
- ▶ 安心できる福祉と医療を。 17歳 女性

クイズ当選者

ご応募いただき、ありがとうございました。

正解は、 **問1** 24名(人) **問2** 3つ **問3** ② (サル)

正解者の中から、厳正に抽選を行った結果、次の15人の方が当選されました。

丹生川中	樋口 保子 様	北 金 井	種村 宗治 様
昭 電	三品 善治 様	大 貝 戸	藤井さをり 様
北 金 井	種村 郁哉 様	北 金 井	種村 春代 様
南 金 井	日沖ヒサ代 様	東 町 2	細野 勇雄 様
川 合	小寺スミ子 様	南中津原	伊藤美智枝 様
山 口	落合 清美 様	片 樋	日下きみ子 様
丹生川久下	服部登喜夫 様	平 塚	川島 淑子 様
東 町 2	細野せつ子 様		

応募いただいた「ハガキ」にご記入いただいた個人情報については、目的以外に一切使用いたしません。

現地視察



石樽峠トンネルの工事現場を視察。視察日には約300メートルの掘削でした。〈3月26日 産業建設常任委員会〉



プラスチック圧縮梱包施設（あじさいクリーンセンター内）を視察
〈3月14日 教育民生常任委員会〉

編集後記

「議会だより第13号」をお届けします。今号は3月定例議会の報告です。

3月定例議会は、主に「来年度の予算を審議する」という大きな役目を担っていますが、今回は地方自治法の改正により助役が廃止され、代わりに副市長が置かれることとなったため、副市長選任の同意を求める議案の審議なども行いました。議案は市の意思を決定するための重要な案件です。そのため、審議は市民の立場になり、時間を掛け、十分に行わなければなりません。

また、議会と行政がよい緊張感を保っていくためには、市民の監視も欠かせません。それには市民が議会のことを知っていただくことが大切です。私たち広報委員は審議や一般質問の内容などを詳しくお伝えし、皆さんが議会に対し、より関心を持っていただけるような議会広報誌づくりのため研鑽に努めてまいります。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

皆さんからのご意見、ご感想をお待ちしております。

6月定例議会（予定）

◆開会日…6月 8日(金)

◆閉会日…6月21日(木)

連絡先

〒511-0292

三重県いなべ市大安町大井田2705番地

いなべ市議会 議会事務局

TEL (0594) 78-3515 / FAX (0594) 78-3516

<http://www.city.inabe.mie.jp/~gikai/>